

中村寛先生 : J Hypertensi. 2010; 28: 1699-1707.

脂肪肝は、血管を硬くする！

Increased arterial stiffness in nonalcoholic fatty liver disease: the Cardio-GOOSE study

【背景】脂肪肝 (NAFLD) 患者は心血管イベントによる総死亡率の上昇など、動脈硬化性病変の独立した危険因子として注目されていますが、今回は、NAFLD が血管を厚くするのか (アテローム性変化)、硬くするのか (非アテローム性変化) について、イタリアの健常者を対象にした (Cardio-Goose study) の結果が報告されました。

【方法】参加者 220 名中、NAFLD 患者 (n=92) およびコントロール (n=128) に対し、アテローム性変化は頸動脈の IMT 肥厚が検討され、非アテローム性変化は、大動脈 (Ao)-PWV (頸動脈～大腿動脈) が測定されました。NCEP 基準のメタボリック症候群 (Mets) の患者は、NAFLD 患者の 43.5% に合併していました。

【結果】血管の IMT (厚さ) やプラークは、これまでの報告同様、Mets の影響を強く受けていましたが、NAFLD 単独による悪化や、Mets への NAFLD 合併による増悪は認めませんでした。一方、血管の AoPWV (硬さ) は、NAFLD 症例では、悪化していましたが、Mets 単独、あるいは合併による悪化は認めませんでした。PWV がかなり悪い群には NAFLD 患者が半数以上とかなり増加していたのに対し、IMT が高いには、NAFLD 患者は 35% と IMT の厚さとの関連は認めませんでした。

【結論】もともと、脂肪肝を来たすような患者の多くはメタボであり、結局メタボが悪いのだろうと、脂肪肝をないがしろにしてきた先生方。実はメタボは血管を厚くし、脂肪肝は硬くしながら、共同して動脈硬化病変を作っているのかもしれないというお話でした。おなか周りを気にするだけでなく、時には肝を触ってみましょう。。(文責 阿比留)